

各位

2025年9月30日  
会社名 株式会社明豊エンタープライズ  
代表者名 代表取締役会長 矢吹 満  
(コード番号: 8927 東証スタンダード)  
問合せ先 取締役専務執行役員 安田 俊治  
(TEL 03-5434-7653)

## 2025年7月期 決算短信 決算補足資料（質疑応答集）

この質疑応答集は、2025年9月11日に発表いたしました2025年7月期 決算短信について、当社で想定していました質問と株主、投資家などの方々との質疑応答の主なものをまとめております。本開示は市場参加者のご理解を一層深めることを目的に、当社が自主的に実施するものです。皆様のご理解を賜ることを目的として一部内容・表現の加筆・修正を行っております。

### Q1 2025年7月期は売上高・利益とも大幅に伸長しました。その要因は何ですか。

A 当社の主力である新築1棟投資用賃貸住宅シリーズ「EL FARO」「MIJAS」の販売が順調に推移し、31棟の引渡しを行いました。特に利益率の高い物件の売上が寄与し、売上高は前期比44.9%増の297億円、営業利益は同44.1%増の33億円となりました。

### Q2 今期（2026年7月期）の業績予想について教えてください。

A 2026年7月期は、売上高376億円、営業利益38億円を見込んでおります。新ブランド「ロスアルコス」の投入も予定しており、従来の「EL FARO」「MIJAS」とあわせてさらなる成長を目指します。

### Q3 海外投資家向けの取り組みについて、今後の方向性を教えてください。

A 当社は台湾子会社を設立し、現地での営業活動を本格化しています。今後は台湾を拠点として海外の販売網を広げ、海外投資家への販路拡大を進めていきます。国内市場に加えて海外投資家の需要を取り込むことで、成長余地を一段と広げていきたいと考えています

### Q4 今期は新ブランド「ロスアルコス」の販売開始が予定されていますが、その狙いと特徴を改めて教えてください。

A ロスアルコスは、RC造・4階建以上の共同住宅を対象とした新ブランドで、都心部の駅徒歩10分圏という立地条件に特化しています。価格帯は10億円以上を想定しております。富裕層や海外投資家からの需要を見込み、当社のブランドラインナップをさらに広げていく狙いがあります。

### Q5 若手社員の活躍や人材戦略について、どのように取り組んでいますか。

A 当社は個人ノルマではなくチーム成果を重視し、上司・先輩のノウハウが体系的に後輩へ継承されるマネジメント機能が構築されています。これにより若手は早期に実績を積み評価や成長につながり、その経験は新入社員へも引き継がれます。さらに早期抜擢や研修制度を整えることで、人材を長期的な財産と捉え、組織全体で成長を促す好循環を実現し、離職率を低水準に抑えています。

【免責事項】当社が開示する資料に記載されている将来の業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

Q6 株主還元についての方針を教えてください。

A 当社は累進配当政策を採用しており、配当の維持もしくは増配を基本としています。また、株主優待として1,000株以上保有の株主様に対し、毎年10月末と4月末にそれぞれ8,000円分のデジタルギフトを進呈しています。安定的な株主還元を継続しながら、成長投資も積極的に進めてまいります

Q7 9月11日に発表された中期経営計画で掲げる「営業利益10倍」の実現可能性について、どのように考えていますか。

A 当社は2028年7月期に営業利益52億円の達成を目指しています。長年注力してきた城南・城西地区でのドミナント戦略により高い稼働率と収益が見込める用地を取得し、開発から施工、販売、管理までを一貫する垂直統合体制で低コスト・高品質の開発を実現しています。さらに、このビジネスモデルを海外投資家へのグローバル営業を通じて水平展開し、収益基盤を拡大することで、中期経営計画に掲げる「営業利益10倍」の目標達成に挑戦してまいります。

以上

## お知らせ

株主・投資家の皆さまとのコミュニケーション機会を設けることを目的とし、IRサイト内に「Quick Answer」コンテンツを設置しています。多くの株主・投資家の皆さまからいただいたご質問や、当社からお届けしたい情報を公開しています。

クイックアンサー

## Quick Answer



URL : <https://meiho-est.com/ir/ir-qa/>

【免責事項】当社が開示する資料に記載されている将来の業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。